

## 【泉区】平成 30 年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	30 年 9 月 5 日（水） 午後 15 時 00 分 ～ 午後 16 時 45 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】梶村 充 議員</p> <p>【議 員：3 人】源波 正保 議員、麓 理恵 議員 横山 勇太郎 議員</p> <p>【泉 区：36 人】額田 樹子 区長、高橋 寛 副区長 松浦 淳 福祉保健センター長 中村 拓 福祉保健センター担当部長 山根 好行 土木事務所長 森田 清 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 29 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について</li> <li>2 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について</li> <li>3 平成 31 年度泉区予算編成の考え方について</li> <li>4 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 都市基盤河川改修工事の進捗状況について</li> <li>(2) 泉ゆめが丘地区土地区画整理事業の進捗状況について</li> <li>(3) 泉区福祉保健活動拠点(泉ふれあいホーム)の移転について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> </ol>
発言の旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 29 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について</li> <li>2 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について</li> </ol> <p>麓議員：いずみ多文化共生コーナーについて、利用者が少なく十分に機能を果たしていないと聞いている。泉区にはいちょう団地もあり、外国籍の方も多。相談件数が少ない理由と、活用が十分でないと考えられる点について聞きたい。</p> <p>丸山地域振興課長：いずみ多文化共生コーナーは平成 24 年度から土曜日も開設しているが、利用は数件程度となっている。理由としては広報・周知の仕方にも要因があると考えている。もう一つはラオス、ベトナム、</p>

カンボジアなどの方は民間事業者で支援を行っていることから、ロコミなどで紹介されてそちらに足を運んでいるということもある。

麓議員：区内の外国籍の方の半分以上が居住されるいちょう団地では、その歴史の中で地域の方々が力をつけて、多文化交流に貢献されてきたということもあると思うが、そちらとの連携はどうか。

丸山地域振興課長：平成 29 年度までは民間事業者の方と意見交換等を行いながら多文化交流などを進めてきたが、平成 30 年度からは予算を計上し、課題解決に向けた取組について事業委託を行っている。29 年度以上に身近な生活課題などに対する対応の取組を強化している。

麓議員：あわせて、旧いちょう小学校跡地の活用について、そういった地域の特性も踏まえて、早く活用についての考え方を示せるよう区役所からも教育委員会等と話をしてもらいたい。

麓議員：災害時の下水直結式仮設トイレの整備が進んできているが、飯田北いちょう小学校について、水を使用するプールの場所が校舎から離れているため、トイレの場所も拠点本部となる場所からかなり離れたところになっている。災害発生時の性犯罪等のニュースも聞くため、仮設トイレの設置場所に応じた照明・防犯カメラの設置などを検討してもらいたい。

千田総務課長：飯田北いちょう小学校には 29 年度に設置されているが、設置場所について、現地に行き状況を確認したうえで、防犯対策について検討していきたい。

麓議員：安全対策として、周囲の環境にも配慮して仮設トイレの整備を進めていってほしい。

麓議員：寄り添い型生活・学習支援事業 1 カ所の場所は、中田か。利用者はどのような地域から来ているか。

会澤生活支援課長：生活支援型は、学習だけでなく生活全般の支援も行っているため、利用者は区内の広範囲から通われているが、小学生中心で家族の送迎の必要もあり、周辺地域が比較的多い。高校進学を目指す学習支援型は、踊場といずみ中央にあり、通われている方の方面も分かっている。

麓議員：こども青少年局、健康福祉局の事業ではあるが、利用者の状況を

踏まえ少しずつ利用しやすい場所に数を増やしていけるとよい。

麓議員：産後うつの方に対して、どのような場所を紹介しているか。

山崎こども家庭支援課長：医療機関での2週間、1か月健診において、スクリーニングを行っており、早期支援が必要と判断された場合、こども家庭支援課に情報提供される。家庭訪問を行う中で、精神科等の治療が必要と判断された場合は、家族とも相談しながら医療機関につないでいく支援を行っている。サービス面では助産院等による産後母子ケア事業の利用等も進めている。

麓議員：泉区内に助産院は1カ所か。

山崎こども家庭支援課長：泉区では1カ所開設されている。

源波議員：外国籍等の区民の生活相談について、民間事業者に寄せられる相談はどのような内容が多いのか。

丸山地域振興課長：日本語学習についての相談などが多く、ごみの出し方なども含めて日本の文化や生活習慣の違いについての相談もあると聞いている。

源波議員：市内の外国人については、中区と南区が多いが、ベトナム人は鶴見区について泉区が2番目に多い。国の骨太の方針にもあるが、外国人の受入について、医療や介護に携わる人材の確保など、横浜市においても受入環境の整備を行うことによって、良い人材を確保していけるのではないかと。

また、ベトナム人の犯罪も増加していると聞く。留学や就労目的で入国後、生活上の問題で悩んでも相談する相手がいないことも原因の一つではないかと。先に日本に住んでいる人と交流できる機会があると支援になるのではないかと。民間事業者と協力して、広報を行い、支援していただきたいと思います。

丸山地域振興課長：ベトナム人については、平成30年6月末現在、鶴見区は878人、泉区では762人となっている。出稼ぎで来て滞在期間が短い人も多い。また、所得が多い方は戸建てを建築し、いちょう団地から引越す方もおり、支援の担い手が育ちにくい状況もある。

外国籍の方の支援については、ベトナム人が多いという泉区の特長も踏まえ、国際局も巻き込みながら対応していきたい。

源波議員：現状の相談内容が知りたい。潜在的に就労の関係で悩んでいる人がいるかもしれない。時々情報をいれてもらいたい。

横山議員：緑園義務教育学校の設置について、完成後に体育館の学校開放は行うのか。

木下学校連携・こども担当課長：34年の春に開校予定で整備を進めているが、学校開放は従前と同様に実施する予定。教育施設のため、学校の利用が最優先となるが、空いている時間を地域の方に開放していくという従来の考え方に変更はない。

横山議員：地域からクーラーを設置してはどうかという声がある。

梶村議員：私も新規設置の学校にはつけてはどうかと教育委員会に伝えている。

横山議員：仮に設置すると、市内で小・中学校が約500校ある中で先駆的な環境整備となり、利用団体が急激に増えるのではないかと思う。そのような状況になっても、教育委員会の方針により応募してきた団体を断ることなく開放していくということになるが、その条件も踏まえた上で設置するかどうかということ地域の方にも、教育委員会にも理解してもらいたい。

木下学校連携・こども担当課長：クーラーを設置すると利用団体が増加することが予想されるが、地域だけでなく一般団体にも広く均等に利用してもらおうということになると思う。

横山議員：そういう方針という理解でよいか。

木下学校連携・こども担当課長：そのような方針となっている。しかし、新規設置ということで色々と声があがっている状況もあると思うが、現在のところ、体育館にクーラーを設置することは聞いていない。

横山議員：クーラー設置について要望する。

木下学校連携・こども担当課長：教育委員会に伝える。

横山議員：岡津地域ケアプラザの設置について、利用者のエリア分けはどうなっているのか。

椎葉福祉保健課長：岡津地域ケアプラザについて、まだ名称は仮称の段階だが、包括エリア分けについては、中川連合町内会の定例会でも説明をした。高齢者数などを推計し、基本的には一部を除く岡津町と西が岡、

領家、桂坂の方としている。また、中川連合は広いため、グレースガーデン弥生台自治会を除く弥生台をいずみ野地域ケアプラザの包括エリアへと考えている。

横山議員：スケジュールに遅れることなくエリア分けの調整は完了するというのでよいか。

椎葉福祉保健課長：はい。

麓議員：7月にいずみ野駅近辺の墓地予定地について不許可となっている。これからのいずみ野のまちづくりを考えていく中で、泉区のマスタープランとあわせて、今後の開発計画を明確に打ち出した方がよいのではないか。

長井区政推進課長：今後、マスタープランをもとに土地所有者、開発事業者との調整、市街化調整区域等の在り方について、地域の意見を聞きながら段階的なプロジェクトを組んで検討を進めていきたい。

梶村議員：定住促進の泉区の方針にも沿っているし、開発事業者等とも協力しながら進めていってほしい。

梶村議員：新生児の聴覚検査について、新規に実施されているが状況はどうなっているか。

山崎こども家庭支援課長：8月から実施しており、現時点ではこども青少年局から件数データの情報提供はない。医療機関から直接こども青少年局に検査実施件数の報告が行われる仕組みになっているので、こども青少年局からデータが提供されたら、情報提供させていただく。

梶村議員：ガーデンシティ事業について、8月契約となっているが、契約内容や工事の開始時期はどうなっているか。

長井区政推進課長：8月に契約を行い、事業者と調整中だが、9月下旬から10月上旬にかけて工事に着手し、花壇が整備されるのは11月以降の予定となっている。

梶村議員：遊具の点検業務について、20%程度の低入札となっているが、本当にそれで出来るのか確認してほしい。

洞澤土木事務所副所長：8月から遊具点検を実施しており、職員が実施状

況をチェックしている。

梶村議員：できるだけ区内のことは区内でおさめるようにやってもらいたい。

### 3 平成 31 年度泉区予算編成の考え方について

梶村議員：あらゆる地域資源とは何か。

栗竹地域力推進担当課長：若年層に地域に関心をもってもらうため、若者版の地域協議会、若者サミットを開催していきたい。若い人たちの意見を区政に反映させる仕組づくりをしていきたいと考えており、地域資源として区内の高校等と連携していくことを想定している。

梶村議員：戸塚区では、地域ケアプラザエリアごとに 10 万円位かけて見守り事業を実施していると聞いた。その状況を確認してもらいたい。孤独死の問題などもあるため、泉区でも地域ケアプラザエリアで実施できないか、区づくりの事業として検討してもらいたい。

額田区長：戸塚区の状況を確認する。

梶村議員：何年か前の大雨の際に泉区で浸水した場所がいくつかあるが、その場所は土木事務所でも把握しているか。

山根土木事務所長：把握している。

梶村議員：対策も練っていると思うが、昨今の豪雨は前例にないほど降るため、浸水被害がないよう対応してもらいたい。

梶村議員：和泉川沿いの介護予防・健康づくりのみちづくりについて、具体的な計画はどのようなものか。

山根土木事務所長：和泉川の改修中の新幹線から遊水地までの間を健康みちづくりルートとして必要な整備を行い、これまでに整備された和泉川沿いの遊歩道と連続することで、ウォーキングや散策、ジョギング等で利用してもらおう。それにより介護予防・健康づくりに役立てようとしている。具体的には河川改修すると両脇に 3.5m の管理用通路ができるため、そこにベンチや距離標、案内板を設置し、河川周辺にトイレ、健康遊具を整備していくよう道路局とも調整を進めている。

梶村議員：結構なことだと思う。進めてもらいたい。

梶村議員：休日急患診療所の設置について、ここには夜間救急も入るが、駐車場はどうするのか。はっきりと方針を出す必要があると思うがどのように考えているか。

長井区政推進課長：現在、休日急患の用地について調整しているところだが、一部の車両については敷地内に収容する予定となっている。冬などの繁忙期は、事業者の医師会が周辺駐車場を借りる方向で検討していると聞いている。

梶村議員：できるだけ早く明確にしてもらいたい。実績を見ると、冬の繁忙期はかなりの利用率となっている。距離は離れているが、遊水地の裏に大きな駐車場があるので活用できないか。その辺りも含め医師会とも相談してみしてほしい。

#### 4 その他

##### (1) 都市基盤河川改修工事の進捗状況について

横山議員：31年度以降の和泉川施工にあたり、旧川は埋めるか明確に決まっているか。

秋本道路局河川事業課長：埋めた方がよいかどうかも含め検討中となっている。

梶村議員：阿久和川の継続中の案件はどうなっているか。

秋本道路局河川事業課長：現在調整を進めている。

##### (2) 泉ゆめが丘地区土地区画整理事業の進捗状況について

梶村議員：駅前のターミナルは整備の終了間際まで使用できないのか。

飯島都市整備局市街地整備推進課長：工事の順番が最後の方となるため、完成時期は33年度若しくは34年度の終了頃となる。

##### (3) 泉区福祉保健活動拠点(泉ふれあいホーム)の移転について

麓議員：完成したエレベーターで上がるとテアトルフォンテとはつながっているのか。

椎葉福祉保健課長：直接はつながっていない。

麓議員：テアトルフォンテからはエレベーターを設置してほしいと聞いている。

額田区長：車椅子の方がテアトルフォンテを利用する際は、今回の改修予

	<p>定となっているエレベーターを現在も使用し、3階の通路を通って入る。改修により入口がコンコース側にも向くため、テアトルフォンテ利用者も使用しやすくなると思う。</p> <p>麓議員：現地を確認してみる。</p> <p>梶村議員：何人位乗れるエレベーターか。</p> <p>額田区長：改修により入口は双方向となるが、収容人数は変わらない。</p> <p>(4) その他</p> <p>横山議員：和泉遊水地の第4池の自動販売機について、撤去されているが周辺に飲み物を購入できる場所がない。遊水地の利用者から設置を要望する声もありここで伝えておきたい。</p> <p>また、第3池だけ車両の出入りが出来ないため、入口について検討してもらいたい。</p> <p>源波議員：戸塚斎場について、利用者は泉区、戸塚区の方が多い。北部・南部と比較しても駐車場が少ない。駅からも遠くバス停からも歩くため、バリアフリーの視点からも駐車場を増やせないか。また高齢者の利用も多く、エレベーターの設置も必要と考える。区役所でも一度状況を確認してもらいたい。</p> <p>梶村議員：戸塚斎場については、トイレを洋式化してもらった経過もある。駐車場等の件も考えてもらいたい。</p>
備 考	